

子育ては みんなの手で、 ふるさとづくりは 子どもたちとともに

【下松市 久保中学校区】

地域の概要

久保中学校区は、下松市の東部に位置し、切戸川上流の自然豊かな山間の環境と、旧山陽道沿いに発展した古い歴史をもつ地域です。現在は中央部を東西に国道2号線、JR岩徳線が通り、自然の中にも商工業地や市街地が広がりをみせています。

中学校区は久保公民館区と重なっており、そのため、地域と小・中学校のつながりが強く、昔から地域と学校の協力的な風土ができています。

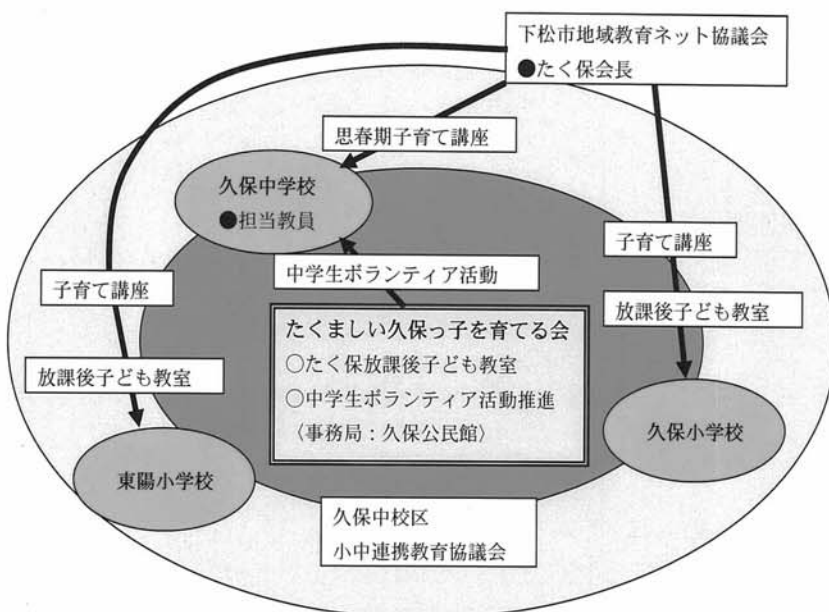
人口	10,057人	
世帯数	3,973世帯	
対象校及び 児童生徒数	久保中学校	348人
	久保小学校	364人
	東陽小学校	262人

組織の内容

久保中学校区では、平成元年に発足し、青少年の健全育成などに貢献してきた「たくましい久保っ子を育てる会」（以下「たく保（たくぼ）」）が推進母体となり、会長がコーディネーター的な役割を担いながら、地域と連携した中学生ボランティア活動の推進や伝統芸能・文化の継承、学校の安心・安全の見守り、放課後子ども教室の運営、地域の活性化などに取り組んでいます。

「たく保」は、小・中学校PTA、子ども会育成連合会、スポーツ少年団及び後援会、スポーツ推進委員、久保地区福祉協議会（久保地区自治会含む）、東陽連合自治会、民生児童委員協議会、婦人会、交番、少年相談員、主任児童委員、学識経験者、小・中学校長、幼稚園園長、伝統芸能指導者（保存会）で組織されています。久保中学校区内の関係団体をほぼ網羅したネットワークとなっており、このつながりを生かしながら、地域の教育支援活動を支えています。

また、下松市では市全体の子育て支援に関わる協議会として、「下松市地域協育ネット協議会」が設置されており、「たく保」の会長も委員の一人です。ここでは、主に「放課後子ども教室の運営」「子育て講座や思春期子育て講座などの家庭教育支援」「地域と連携した中学生ボランティア活動の推進」について協議し、情報交換などを行っています。その中で「たく保」の長年にわたる学校と地域が密接に連携した取組も情報提供され、市全体の教育支援活動の推進につながっています。



「たく保」の長年にわたる学校と地域が密接に連携した取組も情報提供され、市全体の教育支援活動の推進につながっています。